

ブルンジ月報（２０２６年９月）

※以下は、ブルンジ主要メディア（RTNB、IWACU等）の記事取りまとめ。

１．政治・外交

今月のンダイシミエ大統領の主要な動きは以下のとおり。

- ３日、ブフムザ州ルイギ県キガリカに所在する予備・開発支援部隊（FRAD）の訓練センターを視察。
- ８日、２０２６～２０２７年司法年度の開会式に出席。司法機関に対し、公正かつ迅速な司法の実現、汚職撲滅及び司法制度の近代化を要請。
- １２～１３日、インドを訪問し、第１８回BRICS首脳会議に出席。１３日の演説では、アフリカの国際機関における代表性向上、持続的な水・衛生へのアクセス、交通インフラ及びエネルギー分野への投資の重要性を強調。
- １２日、インドのモディ首相と会談。両国間の協力強化について協議し、学生・行政官等の能力強化及びブルンジの天然資源の加工・付加価値化等について意見交換。
- １７日、州知事、コミュン行政官、コミュン議会議長等と会合。各コミュンにおける観光・余暇施設整備計画を確認し、整備予定地の８０％を緑地とするよう要請。
- １７日、UNICEF地域事務所長と会談。児童の保護・福祉及びUNICEFとの協力について協議。
- ２３日、第８１回国連総会に出席し、国連総会一般討論演説において、AU議長としてアフリカの国際的な代表性向上、平和・安全保障及び開発におけるアフリカ諸国の役割強化を訴えた。
- ２９日、EU、エジプト及びフランスの新任大使が信任状を提出。EUとは開発協力、エジプトとはナイル川の水資源、フランスとは教育・フランス語及び文化交流等について意見交換。

内政に関し、

- ２４日、最高裁行政部門がCNLの党指導部をめぐるルワサ氏側の訴えを不受理とする判決。ルワサ氏側は判決を不服として再審理を求める方針。
- ２７日、FNL（解放民族軍）は党大会を開催し、CND－FDDが候補に選出したンダイシミエ大統領への支持を決定。
- ２９日、ンゴジで政府機関報道官による公開番組を開催。選挙を控え、国民に対して平和と治安の維持を呼び掛けるとともに、農業振興及び植林等を要請。

外交に関し、

- 3日、ビジマナ外相は、仲條在ブルンジ日本国特命全権大使との間で、約2,500トンのコメ（3.5億円）の食糧援助に係る交換公文を署名。
- 5日、同外相は、EAC加盟国の駐ブルンジ大使と緊急会合。ケニアにおいて小規模商業活動に従事するブルンジ人が差別・暴力等を受けている問題について協議し、外交的解決を求めた。
- 15日、同外相は、ベトナム外務次官及びEU・フランス・エジプトの新任大使と会談。
- 14～18日、同外相は、新任外交官向け研修を実施。経済外交、戦略外交及びデジタル時代の協力戦略等を取り上げ、18日に閉会。
- 18日、同外相は、EAC加盟国等から成る「Great Africa Cycling Safari」の参加者を受け入れ、EAC域内の平和・安全保障、持続可能なモビリティ等を通じた地域統合の重要性を強調。
- 22～25日、同外相は、ニューヨークで第81回国連総会に出席し、米國務省アフリカ担当次官補及びウルグアイ外相と会談。コンゴ（民）東部情勢、地域の安全保障及び二国間協力等について協議。

2. 経済

- 7日、鉱物資源の輸出について、516トンの鉱物を積載した輸送船団が出発。鉱物輸出が継続する一方、輸出によって得られた外貨が実際にどの程度国内に還流しているかについて、BRBから最新の数値が公表されていないとの指摘。
- 15日、ブルンガ州で農業シーズンA（9月～1月）に向けた化学肥料の配布準備を開始。州政府は肥料の保管・輸送・配布関係者に対し、配布経路の遵守を要請。
- 22日、ンタグントゥヨエ首相が世界銀行のブルンジ担当責任者と会談。農業の近代化及び国有地の有効活用等について協議。
- 30日、コミュン事業を通じた若者の雇用創出をテーマとする討論会がギテガで開催された。2026～2027年度予算では、コミュン・州向けに9,440億BIFを計上。